



きょうされん
千葉支部会報

謹賀新年 2016年1月号 千の葉通信



発行 きょうされん千葉支部事務局 広報委員会

2015年12月25日

きょうされん千葉支部主催 映画上映会・講演会開催決定！

千の葉通信11月臨時号でもお知らせしましたとおり、千葉支部主催の映画上映会・講演会を開催致します。

上映作品はきょうされん結成30周年記念映画として制作された「ふるさとをください」です。映画では精神障害者の施設反対運動という重い問題を描いてはありますが、脚本家ジェームス三木さんの素晴らしい才能と発想により、ほのぼのとしたヒューマン・ドラマに仕上がっております。

今回はジェームス三木さんの講演会も企画しました。きょうされんのがんばるデイ(請願署名・募金運動)にも毎年ご参加いただいている同氏に、「障害者と私」というテーマでお話いただきます。

皆様お誘いの上、是非ご参加くださいますようご案内申し上げます。

一人でも多くの方々に映画「ふるさとをください」を観ていただき、千葉県下に、障害者と健常者が、施設と地域が共生、共存できる社会が実現できるよう、皆様と一緒に歩んでいきたいと思っております。

千葉支部役員一同、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

きょうされん千葉支部
支部長 加藤裕二

日時 2016年2月11日(木・祝)
13時開場 13時30分開演
会場 千葉市文化センター アートホール
〒260-0013 千葉市中央区中央2-5-1
入場料 一般1000円 障害者・高校生以下600円

お問い合わせ

きょうされん千葉支部事務局

TEL: 043-206-7101

FAX: 043-207-7153

E-mail: contact@kyousaren-chiba.com

ふるさとをください

監督 宮永善治
脚本 ジェームス三木 音楽 小穴雅次郎

＜あらすじ＞
片倉千草は帰郷して県庁の職員になり新生活がスタート。父親の道二郎は店を営むと共に地域のリーダー。そんな絆に、街の片隅で障害者たちがクレーニング屋を始めたことに、町内会で反対に立ち上がる。千草は作業所職員の内藤と知り合い、彼らの働く姿に共感するが、父や母は賛成。千草は作業所を応援しようとする。懸命な千草と、反対する道二郎との衝突は激しくなる。その頃、作業所メンバー同士が結婚しようとしている。彼らを変えようとする千草や内藤の努力が実り、街の人々の意識が変わり始めるのだが...

2016
2/11
一般1000円 障害者・高校生以下600円

「ふるさとをください」
映画上映会・講演会
脚本家 ジェームス三木

障害者と私
これまでの道、これからの夢
講演者 ジェームス三木
映画「ふるさとをください」脚本執筆。主な作品に大河ドラマ「徳川三代」「八代将軍吉宗」「独眼竜政宗」、連続テレビ小説「薄っぺし」など多数。
きょうされんの活動にも度々参加。

2016年2月11日(木・祝) 13:00会場
13:30開演 16:30終了予定
千葉市文化センター アートホール 〒260-0013 千葉市中央区中央2-5-1
入場料 一般1000円 障害者・高校生以下600円
お問い合わせ: きょうされん千葉支部事務局
〒263-0043 千葉市稲毛区小針2-4-1 京成稲毛ビル205号 トライアングル西千葉内
TEL: 043-206-7101 FAX: 043-207-7153
E-mail: contact@kyousaren-chiba.com

主催 きょうされん千葉支部

第2回支部長・事務局長会議

きょうされん千葉支部事務局長 額額建史

国内動向

- 生活保護受給者は217万世帯にのぼり過去最高。シングルマザーの48%が相対的貧困線以下。一方で、1億円以上の余剰資金を持つ人は212万人で過去最高。
- 現政権は9月24日に「新3本の矢」の政策を発表。冠として「一億総活躍社会」が付いた。その言葉からは「一億総動員」や「一億火の玉」を想起させ、危うさを感じる。また、新3本の矢の1本として「介護離職者ゼロ」を打ち出した。本来はサービスを受ける必要のある高齢者に焦点を当てるべきところを、サービス提供者に向いている施策として、非常に問題がある。
- 2016年4月から障害者差別解消法施行、その後、総合支援法改定案審議、7月には参議院選挙が控える。きょうされんとしては、障害分野についてはもちろんのこと、障害者施策が不可分である政治面においても、極めて危うい現状においてはメッセージを出していく必要があるというスタンスをとっていくと考えている。
- 厚生労働省（以下、厚労省）が9月17日に打ち出した「誰もが支え合う地域の構築に向けた福祉サービスの実現」の政策文書と、財務省財政制度審議会（以下、財政審）の財政健全化計画に関する建議。これらの文書に頻出する文言として、“効率化・産業化・対費用効果・自助・持続可能・公平化・国民理解”がある。これらが現行の社会保障政策のキーワードと言える。そのうちの“効率化”については、高齢者・子ども・障害者・生活困窮者を一体として施策を進めていく、ということが厚労省文書に明文化されている。本質は予算縮小であることは明白。また、“産業化”は、資源を投入した分と成果物が一定の比例関係にあることを指し、骨太方針においても伸びしろのある産業として、介護分野が列挙されている。ロボット技術やICTの導入、業務管理の見直し及び削減による人員をコストとみなし削減する必要を打ち出している。

総合支援法見直し議論

- 財政審財政制度分科会などは、2019年の介護保険制度定時改定の際に2割負担を明示したいと思惑がある。そして、高齢者と障害者施策の一体化の方向性が出てきている。自立支援協議会とケアセンターの統合、相談支援機能の一体化など。高齢者・生活困窮者・障害者・子育てを合わせて「福祉保険」制度に。財源確保のために保険料徴収の低年齢化。
- 社会保障審議会障害者部会をはじめとする総合支援法見直し議論は、厚労省検討の方向性としては、介護保険と障害者施策の統合を目指したもののばかりとなっている。就労支援事業B型事業所が、介護保険事業所認定を取るとはどうか、など。多くの委員は、介護保険との統合、介護保険優先原則の維持はやむなしの論調が続いている。
- 利用者負担については経過措置(食事提供体制加算、医療型個別減免特例など)が10年経過しているので、現行の終了時期に合わせ制度を無くす方向を示している。
- 地域生活支援事業は裁量的経費のため毎年1割カットとなっているが、今後は個別給付を見直し、地域活動支援センター事業へ移していこうという方向も示されている。委員からは時限措置は基本無し、利用者負担やむなしの論調。一部には骨格提言に沿った検討を求める発言もあった。国民の理解のためというが、負担したからといって理解される保証は全く無い。制度をしっかりと構築し、説明することがまず必要である、という発言もあったが、つまるところ負担ありきとなっている。
- 今の見直し議論は一貫して財政抑制が基本にある。そのため、第39次国会請願項目では利用者負担を真正面から論じている。こういった視点からも、今請願は特別な意味を持っていることを理解し、取り組みを広げていただきたい。



改めて“基本合意”を日本中に広めることが肝要

- 集会で元原告は「基本合意を抛り所にしてきたが、この間の時計の逆戻りの動きは許すことはできない。改めて私たちが力を合わせて運動を進めていかなければならない。」と語った。集会終了後の記者会見で、藤岡弁護士事務局長は「明確に基本合意違反であり、しっかりと対応していく」ことを名言。民主党政権時の締結文書の効力についての質問も出たが、「政府との約束事であり、定期協議は自公政権時の方が多く開催されており、担当大臣も基本合意の尊重を名言している」と回答。改めて今、基本合意を日本中に広めることが肝要。
- 厚労省は定期協議を2016年9月以降でしか開かないと言っている。これは総合支援法見直し法案上程、審議、成立および参議院選挙終了後の時期であり、思惑がある。

日本政府初の障害分野の公式文書。その内容は…

今回の国連障害者権利委員会へ提出した政府報告文書は、おそらく国が初めて作った障害分野を網羅する公式文書。その内容は政策の羅列であり、基本合意の記述もなかった。しかし、障害者権利委員会が求めているのは、条約批准後新たに行なった措置、その成果、出来なかったこと、その理由。民間からのパラレルレポート作成前に、政府報告の是正を求めているかなければならない。

社会福祉法「改正」法案の動向

現状は継続審議案件となっている。通常国会開会後に早い時期に審議・採決となる可能性が大きい。「社会福祉法等の改正に反対する緊急請願」書名を年内に早急に取り組んでいただきたい。

安永健太さん死亡事件民事控訴審

関東のつどいを11月9日に開催し、全国から309名が参加。福岡高等裁判所の担当裁判官は、警察官が障害のある人への理解があった上で保護行為をするべきではないか、という論点で争点化している。判決はわからないが、この間の市民の支援によって確実に情勢は動いている。

国際動向

WIJ^注賛助会にてイタリアのロベルト・メッツィーナ氏が来日した際、「日本にはきょうされんという障害のある人の権利保証のために運動しているすごい団体がある」と世界中を講演して周る中で言っていると話してくれた。

注

Workability International Japan (ワーカビリティ・インターナショナル・ジャパン)

ワーカビリティ・インターナショナル(WI)は、1987年にスウェーデンで組織された障害のある人に対する雇用や就労サービス提供者の世界最大の非政府組織。WIは、障害のある人の就労促進や仕事の共同受注などを目指して、ヨーロッパ、アメリカ、オセアニア、アジアで活動している。アジアでは、ワーカビリティ・アジア(WAsia)として活動を展開。日本では、全国社会就労センター協議会・日本セルフセクター・きょうされんの3団体がワーカビリティ・インターナショナル・ジャパン(WIJ)を組織し、WIおよびWAsiaに加盟している。

連載・きょうされんを知ろう(2)

地域との結びつき

自主財源の確保と地域の理解・共感を得る上で必要となる地域への働きかけは、多様な結びつきを作り、障害のある人の願いを実現するための事業・労働・活動の多様な発展を实らせてきた。“共同作業所が出来ると地域が変わる”、障害のある人の理解者・応援団を広げてきた。

大きな役割を果たす存在として

全国・地方で頼られる存在になり、制度改革等の大切な役割を担っている。また、きょうされんが実施した障害のある人への実態調査により明らかになった事柄も多く、調査活動においても大きな役割を果たしている。

日本障害者協議会(JD)・日本障害フォーラム(JDF)の縁の下の力持ち的存在として、10.31大フォーラムの成功に際して、また、障害者自立支援法訴訟の下支えとして、運動の要として重要な役割を果たしてきた。

実践を広げてきた証

1977年の結成以来、加盟事業所は1900ヶ所に成長。通所・入所、法定・法外、障害種別・程度を問わず「私たちのめざすもの」に団結してきたきょうされんは、日中生活・相談・社会参加の支援まで実践を広げてきた。応援団であるTOMO購読者は3万人超を有することになり、支部は40に達した。

**医療、介護、年金、削減につぐ削減！
誰もが社会から排除されることなく、
人間らしく生きられる社会保障制度を！
もう、削減はやめてください！**



10月28日、日比谷野外音楽堂で開かれた集会に4000を超す人が集結。生活保護基準引き下げに対する違憲訴訟を起こした原告800人超も参加しました。

この集会の目的は、生活保護制度の「改悪」、生活保護基準の引き下げについて撤回、取り消しを求める声を集め、生活保護制度の真の充実を求めること。「いのちを守れ」とデモ行進しました。



がんばるデイ 2015 中央企画



千葉支部での署名・募金活動は参加したことはありましたが、新宿での活動は初めてでした。

新宿は大きなビルと外国人の旅行者が多くて、まるで日本ではないみたいでした。

高校生の男の子や、岡山から来たという女性が署名をしてくださいました。

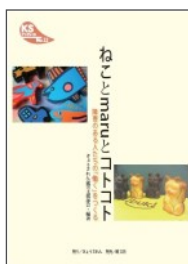
「がんばってください！」と声をかけていただきました。「少ないですけど…」と募金もいただいて、嬉しかったです。

東京で働いている利用者の方がスピーチで話していた、「月1万の給料では自立できません！」という言葉に、本当にその通りだと頷きました。雨が降る中での募金活動、少しでも力になれたでしょうか。

(がんばるデイ2015中央企画 参加者)

!! a book review

「ねことmaruとコトコト」



きょうされん就労支援部会編著

発行/きょうされん 発売/萌文社 ¥720(税込)

「障害の重い人たちの労働保障」をテーマに、きょうされん就労支援部会での議論を踏まえ、まとめられた本書。障害のある人一人ひとりに向き合い、それぞれ特徴的な仕事を取り入れ、実践を積み重ねている3ヶ所の事業所が紹介されています。その上で、この国の法律の変遷、世界の労働の考え方・水準、そして働くことをつくってきた共同作業所の意義と価値のおさえなおしをしています。



事務局だより



千葉支部 今後の予定

- 1月 7日(木) 映画実行委員会 (NPO法人トライアングル西千葉にて開催)
- 1月14日(木) 事務局会議 (NPO法人トライアングル西千葉にて開催)
- 1月18日(月) 運営委員会 (千葉市中央コミュニティセンター 5階集会室)
- 2月11日(木) 映画上映・講演会 (千葉市文化センター アートホール)
- 2月18日(木) 事務局会議 (NPO法人トライアングル西千葉にて開催)

組織・運動委員会より

次期通常国会が1月4日から始まる可能性が高くなってきたことを受け、きょうされん本部では第39次国会請願行動を4月下旬もしくは5月上旬での開催の調整をはじめている模様です。

署名・募金活動につきましては、例年より1ヶ月以上前倒しの3月末での集約を行ないます。各会員事業所におかれましても、ご理解の上取り組みを進めていただきますようお願いいたします。

事業委員会より

バレンタインデー&ホワイトデー販売企画が例年よりも早い時期での開始となりました。新商品も加わってさらに多彩になったラインナップをぜひご覧いただき、職場・ご家族・ご友人等にお勧めください。

あどがき

連続テレビ小説「あさが来た」を観ています。

ヒロインのもとには様々な困難が起りますが、持ち前の明るさと、とてつもないバイタリティーで乗り越えていく姿に深い感銘を受けます。

ヒロインのモデルとなったのは、幕末から明治、大正と駆け抜けた実業家の広岡浅子さん。今の世では特別ではない女性実業家の、先駆者とも言えるべき人物であるそうです。

広岡浅子さんの座右の銘は「九転び十起き」。人より多く転んでも起き上がる、浮き沈みの激しい人生、といった意味が込められているそうです。転んでも転んでも何度でも起き上がるくじけなない心を、私も持つてみたいと思います。

(広報委員会 並木)

“障害のある仲間たちの応援団”とは、きょうされん賛助会員の皆さんです。

長年応援してくださっている方、新しく応援団に加わった方、たくさんの方がいらっしゃいます。お知

“障害のある仲間たちの応援団”になろう

り合いの方や地域の皆さんにも賛助会員に入会していただき、みんなで障害のある仲間たちを応援していきましょう。

詳しくは千葉支部事務局へお問い合わせください。

“言の葉”募集

きょうされん千葉支部会報「千の葉通信」をお読みいただき、ありがとうございます。

「千の葉通信」を読んで、どんなことを思いましたか？皆さんが思ったこと、考えたことをお聞かせください。皆さんの“言の葉”を、これからの支部活動、会報作りに活かしたいと思います。

メールでお寄せください

E-Mail: koto-no-ha@kyousaren-chiba.com

きょうされんネットショッピングモール

TOMO市

全国の障害のある人たちが働いている作業所が店出しています。「安心」「安全」「手作り」を大切にして、オリジナルの商品や地域の特性を活かした地元企業とのコラボレーション商品販売しています。
<http://www.tomoichiba.jp>

お問い合わせ先

お気軽にお問い合わせください。

きょうされん千葉支部

〒263-0043

千葉市稲毛区小仲台2-6-1 京成稲毛ビル205号

トライアングル西千葉内

TEL: 043-206-7101 FAX: 043-207-7153

E-Mail: contact@kyousaren-chiba.com

Web: www.kyousaren-chiba.com

